



京都きょうだい会だより

第164号 2013.11.9

発行 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会
上本善有（代表）

事務局 京都市伏見区石田大山町5-2-67 梅田嘉一方 TEL&FAX 075-571-1973

でてこいランドー泊交流会

9月14日～15日

「今、気になっていること」をテーマに語り合いました。自然に語り合えた1泊2日でした。

「でてこいランドー」とは京都府の真ん中、丹波地方にある宿泊施設の名前です。最寄駅は、JR京都駅から山陰線で1時間あまりの下山駅。ここで毎年、全国のきょうだいに呼びかけて、1泊2日の交流会を開いています。

今年は、日帰りの人も含めれば30人を超え、地元関西圏だけでなく、千葉・東京・神奈川・富山・福井・岡山・広島からの参加がありました。初参加の方の5名をはじめ、何年ぶりかの参加の方、きょうだい同伴のHさん、Kさん、弟さんに手伝ってもらい1歳にならない子供さんを車に乗せて参加されたMさん、交通事故の後遺症にもめげず今年もあいさつに来て下さったMさん御夫婦の姿も……。今回は特に年齢層に偏りが無く、各世代ごとの幅広い課題や思いを聞くことが出来ました。

1日目は各自持参の夕食を食べながら、恒例の地域ごとの自己紹介から始め、その後は思い思いの人との交流、鈴木さんのギターによる弾き語りと続いて、あっと言う間に時間が過ぎて行きました。ここでは前置き無く、きょうだいの思いが、多くを語らなくても通じる心地よさがあります。まだまだ話し足りない人の話声が、深夜まで続いていました。

翌日は台風の影響で断続的な雨模様となりました。セルフサービスの施設なので、みんなで協力してシーツの洗濯や風呂掃除、ゴミ片付けや朝食の用意をした後、9時から12時までディスカッションをしました。

昨年のテーマは「子供時代の体験を語る」でしたが、今年は「今、気になっていること」をテーマにしました。進行役は京都の若手スタッフNさんで、ゆるやか

な進行と共に要所所でポイントをついたコメントも入れて、自然な感じでみなさんの思いが引き出されました。

初めに20歳代の男性からの「きょうだいに障害があることを周りに伝えられなかったが、皆さんの経験を聞きたい。」という発言を皮切りに、きょうだいのカミングアウトをめぐる議論が展開。深刻な体験をした人もいれば、案外そうではなかった人もいました。

- 小中高までは伝えられなかった。福祉の学校に行ってから抵抗が無くなった。(20代女性複数)
- いじめられたりしたが、自分の場合は隠さずに来た。学校は社会福祉学科を選んだ。(40代男性)
- 妹は養護学校にいたので同級生には知られていなかったが、障害児をいじめている同級生の言動を見て、人間不信に陥った。(20代男性)
- 子供の頃、「精神薄弱」という言葉がすごく嫌だった。今はボランティアをしているので話しやすくなった。カミングアウトは相手を見て使い分けをしている。(60代女性)
- 悩んでいる時、分かってくれている友達からかけられた言葉がありがたかった。(30代女性)
- 弟と同じ小学校だったので説明する必要は無かったが、中学に入ると弟の障害を口で説明しなければならず、逆に素直に言えなかった。今となっては、ていねいに話せば聞いてくれるという実感はある。(40代男性)
- 異性にきょうだいのことを伝えるのに、すごく気を使った。(20代男性)
- 恋人から打ち明けられた時、構えて言われたので、自分も構えて聞いた。医療現場で働いていたので、自分自身に抵抗は無かった。(20代女性)
- 中学までは、みんな幼馴染なのでわざわざ言う必要は無かったが、高校以後は話すか話さないかで葛藤し、そのうち話すのが面倒になった。今は特に必要がある時だけしか話さないことにしてい

事務局(梅田方)に電話とFAXがあります。連絡や通信に利用して下さい。
たよりの原稿は 宇治市羽戸山3丁目1-76 (TEL&FAXとも0774-31-4337) 糸井まで

る。(30代男性)

- ・職場と同じ法人施設に妹が利用者として来ている。

職場の仲間には知られたくないという思いはある。(30代女性)

- ・40代になって初めて妹に障害があることに気づいたので、きょうだいとしての意識も最近のこと。会長に誘われ本部活動をするようになった。(50代男性)
- ・特にカミングアウトの経験は無いが、父が亡くなったので、母から期待されたことで悩んだことはある。結婚する時は相手に伝えた。(60代女性)
- ・弟のことで悩んだということは無く、逆に目を開かれ、家族のきずなが深まった。(60代女性)

.....

周囲へのカミングアウトの話題の後は、若い世代からそれぞれの今の心境が語られました。

- ・きょうだいとの関わり以前に、自分をどう確立するか。落ち込まない努力をして行きたい。前向きに自分のことを考えて行きたい。(40代男性複数)
- ・自分も一時、ネガティブな心境に陥った時期もあったが、価値観を外に求めるのではなく、そういう時はしばらく時を待とうと思っている。(20代女性)

そして、熟年世代からは、次のような実感やアドバイスが語られました。

- ・下に3人、障害のある弟がいたが、今は一人の弟だけになった。若い頃から自分は社会に対し反抗的だった。今でも残念だが人に対する不信感が残っている。(60代男性)
- ・何度か負の体験をしてきたが、その時悪いと思っていた体験が、あとになって栄養になる場合もあることを実感している。(60代男性)
- ・弟が生きていたころは、家族ぐるみで障害者の運動をしていた。その弟が病死した時、家族が目標を一時失ったが、福祉関係の仕事をしている

人から励ましをもらい、気を取り直し、運動を再開した。(50代男性)

- ・若い人には、あまり先のことまで考えず、何か問題が起きた時に考えれば・・・と助言をするようにしている。(60代女性)
- ・「悩んだことがある」でとどまってはいけないと思う。きょうだいの抱えている問題は世の中のいろいろな問題のひとつであり、一番大事なことはどう自己形成をして行くだと思う。自分の為にも社会的な活動を続けている。(60代女性)

最後に感想を一人ひとり述べてもらったところ、一様に、「いろんな人の話が聞けて良かった」「質の高い話が出来た」「自分自身を語る経験が出来て良かった」「聞いた話をかみしめて帰りたい」等々という言葉が聞かれ、当事者としてのきょうだい会らしい場が作れたように思いました。

きょうだいの障害の種類や程度、家族や地域の環境も多種多様で、出された「語り」やアドバイスの全てが、自分の答えに直結する訳ではありませんが、ヒントが得られたことは多かったのではないのでしょうか。来年もまたでてこいランドでゆっくり語り合ひましょう。(1)



お知らせ

1月例会は恒例の新年会!

京阪電車伏見稲荷駅近くの居酒屋でふく鍋を囲みます。

1月11日(土)6時半から9時半の予定。会費4千円ぐらい。

詳しくは事務局まで。

会費は正会員・購読会員とも年間3,000円です。カンパはいくらでもありがたいです。会を支えて下さい。京都銀行鞍馬口支店 口座番号 3797399 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会まで。